



**2020年12月期
第2四半期 決算説明資料
内外トランスライン株式会社**



1. 決算概要
 2. 今期計画等
-

1. 決算概要

連結第2四半期決算概要説明

連結 損益計算書

コロナ禍の影響で売上高は5.4億円（4.8%）減の107億円
売上原価、販管費の圧縮に努めるも営業利益は1億円（14.6%）減の6.1億円
経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益もともに前年を下回る

連結 貸借対照表

純資産は1億円増の95億円
流動資産が1.1億円増加するが、
固定資産は減価償却やのれんの償却等で2.5億円減少し、
総資産は1.4億円減の120億円

連結キャッシュ フロー計算書

利益計上を中心に営業活動によるC/F 7.0億円
投資活動によるC/Fは △0.3億円
配当金に支払等により財務活動によるC/F △2.2億円
現金及び現金同等物は期首より3.3億円増加し66億円

連結第2四半期実績

(百万円)

	2019/2Q	2020/2Q	対前年 増減率(%)	2020/2Q 期初計画
売上高	11,301	10,758	-4.8	11,640
営業利益	718	613	-14.6	720
経常利益	737	639	-13.3	760
親会社株主帰属 当期純利益	501	439	-12.5	530
為替レート (USD)	110.06	108.25	1.81円高	(2019年予算レート) 109.00

連結第1四半期/第2四半期実績比較

(百万円)

	2019/ 1Q	2019/ 2Q	2019 上半期	増減率 (%)	2020/ 1Q	2020/ 2Q	2020 上半期	増減率 (%)
売上高	5,525	5,775	11,301	4.5	5,397	5,360	10,758	-0.7
売上総利益	1,490	1,638	3,129	9.9	1,501	1,420	2,922	-5.4
営業利益	297	420	718	41.4	345	267	613	-22.5

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)

	2019/2Q	2020/2Q	対前年 増減率(%)	増減額
売上高	11,301	10,758	-4.8	-543
日本	7,447	7,453	0.1	5
海外	3,853	3,304	-14.2	-549
セグメント利益 (調整額)	718 (△48)	613 (△16)	-14.6 (－)	-104 (+31)
日本	463	346	-25.4	-117
海外	302	283	-6.3	-18

連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

<主な変動要因>

流動資産
・現金及び預金 +337
・売掛金 △181

有形固定資産 △207

総資産額 12,000 (△144)

流動資産
8,609
(+112)

固定資産
3,391
(△256)

流動負債
1,757
(△228)

固定負債
653
(△20)

純資産
9,589
(+104)

自己資本比率 73.8%

() 内は前期末比増減

<主な変動要因>

流動負債
・買掛金 △165

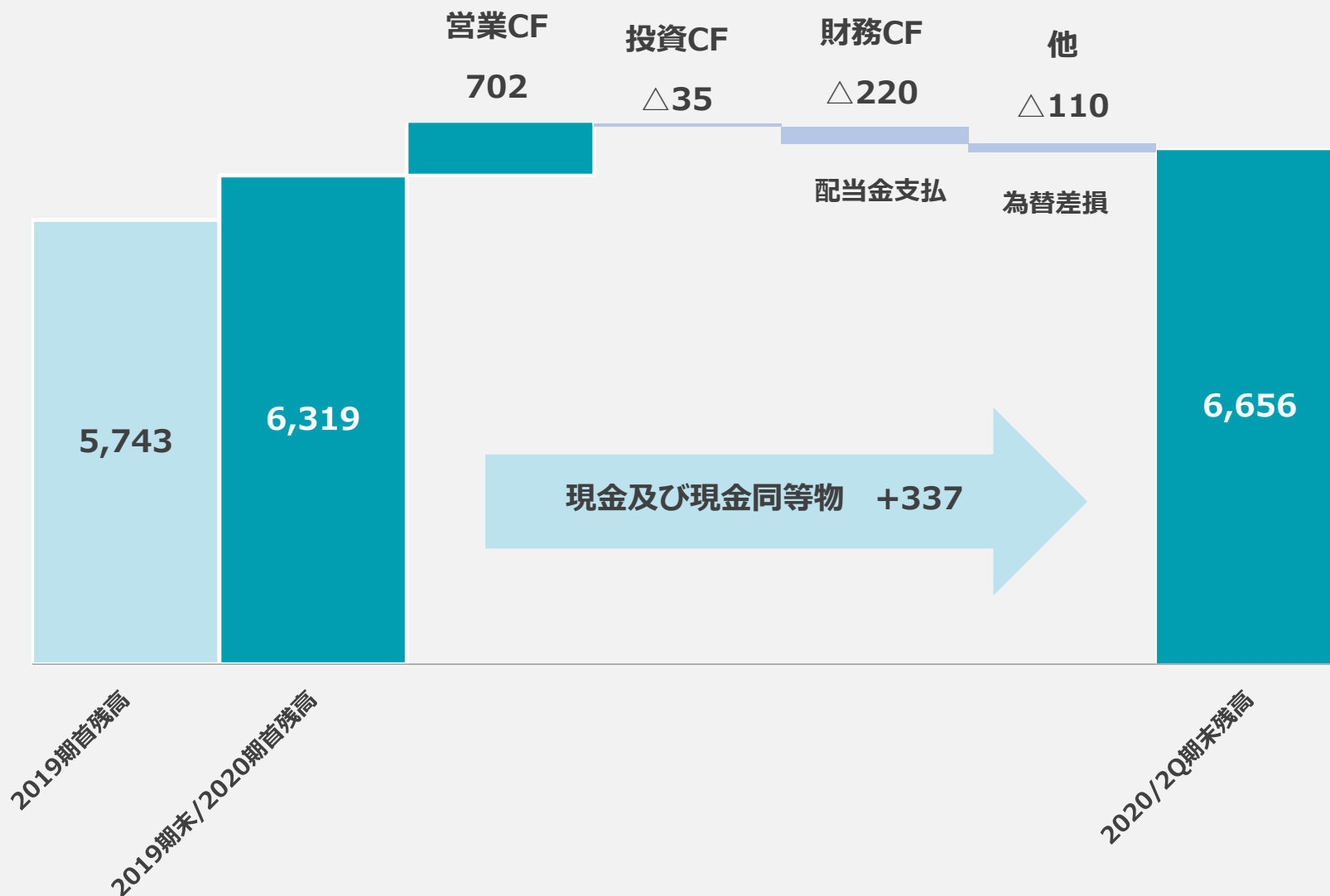
純資産
・利益剰余金 +273
・為替換算調整勘定 △164

有形固定資産の減少は主に減価償却等によるもの

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

2020/2Q

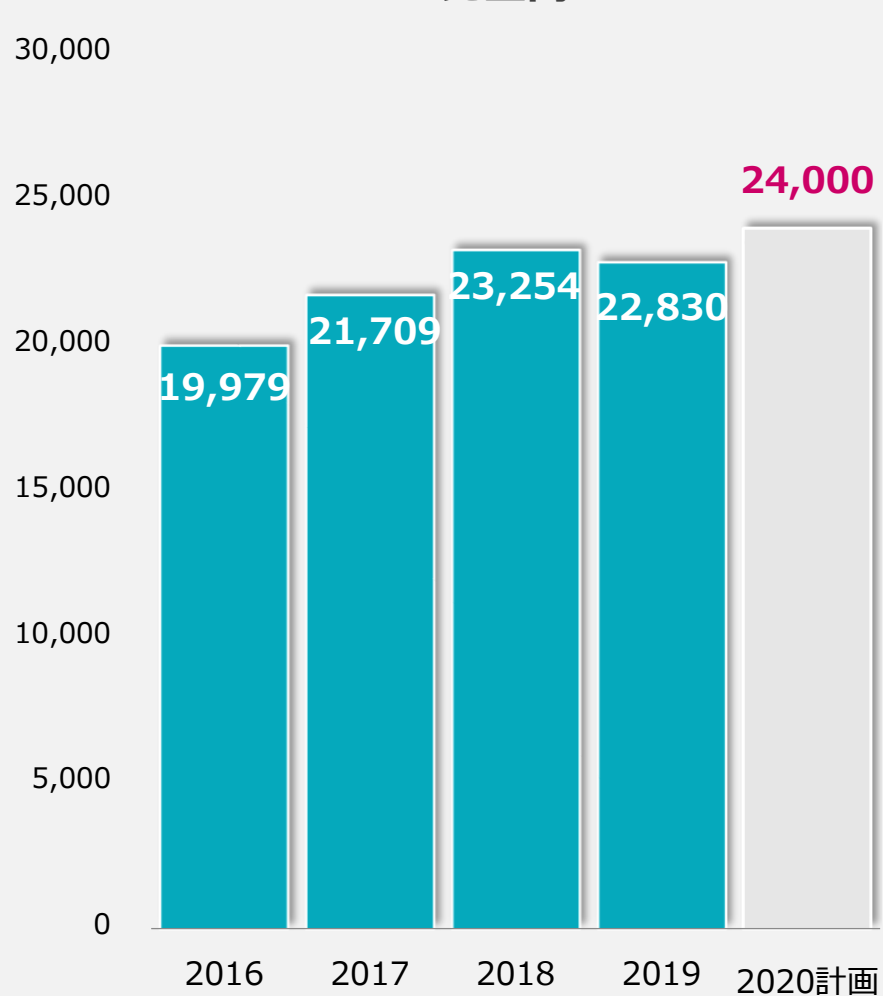


2. 今期計画等

連結売上・利益計画

(百万円)

売上高



営業利益

(%)

2,000

8.0

— 営業利益率

1,500

7.5

1,000

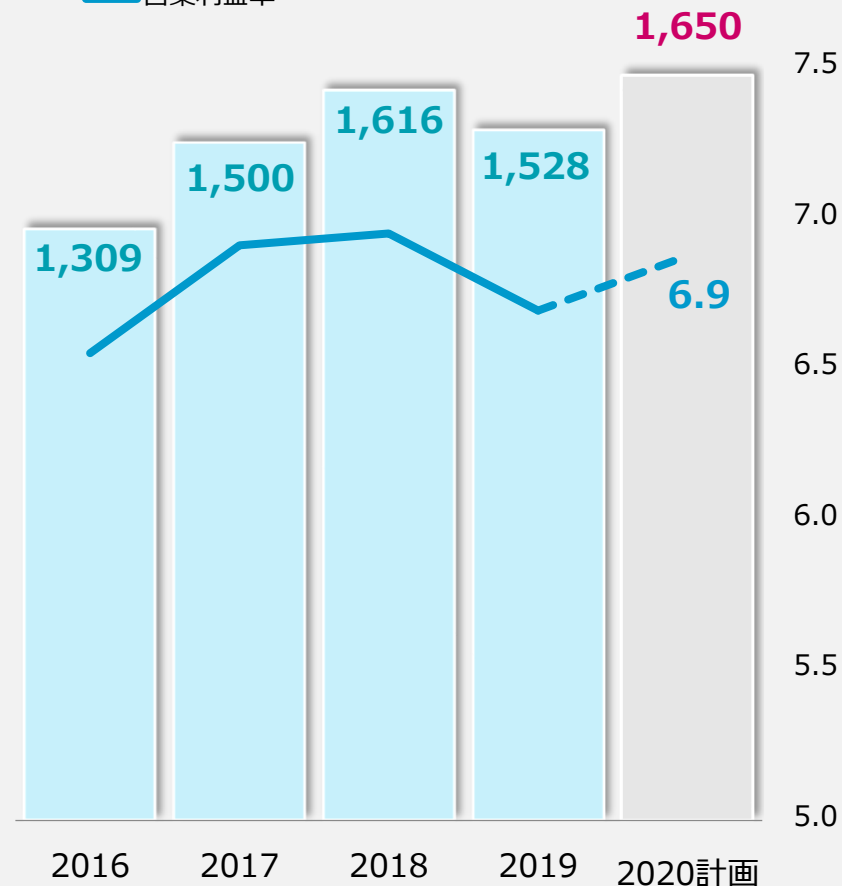
7.0

500

6.0

0

5.0





**テレワークの実施
業務効率化**

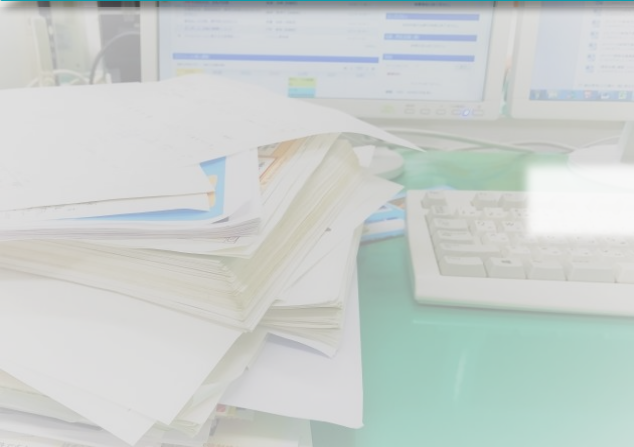


**インサイド
セールスの拡充**



IT化推進

ウィズコロナの新時代



従来の業務の進め方

営業スタイルの多様化

- ・ 従来の訪問営業に加え、WEBマーケティング営業の強化
- ・ WEBによる見積り・貨物トレース・ブッキング機能の拡充
- ・ 顧客データベースを再構築し、お客様に有用なサービス、世界各国の情報を発信

北米向けフルコンテナサービス

内外トランス

北米向けFCL強化 食品の取り扱い拡大

内外トランスラインは、米州向けのFCL（コンテナ単位）輸送を強化している。中でも北米は食品を切り口に取り扱いを増やしており、昨年の米州向けFCLの取扱量は前年比12%増、カナダ向けは8%増に達した。29日からはウェブサイトに北米、メキシコ向けFCL輸送のスケジュールを掲載するなど、サイトの情報も拡充。顧客の利便性を高めてさらなる取り扱い拡大を目指す。

サイト拡充で利便向上

同社は2018年、米、韓、韓国発など三國間輸送向けFCLの強化に努めてきた。中でも北米は食品を切り口に取り扱いを増やしており、昨年の米州向けFCLの取扱量は前年比12%増、カナダ向けは8%増に達した。29日からはウェブサイトに北米、メキシコ向けFCL輸送のスケジュールを掲載するなど、サイトの情報も拡充。顧客の利便性を高めてさらなる取り扱い拡大を目指す。

29日にも加載している。29日に掲載するスケジュールはハワイを含めた米州、カナダ、メキシコ向け。北米は東岸と西岸に分け、航路を見やすく整理して載せる。掲載している船社約10社とは全てSCを結んでいるため、顧客はニーズに合わせてサービスを選択できる。

内外トランスラインは、これまでもウェブサイトのコンテンツを拡充してきた。在米勤務の普及により、今後はサイトを通じた情報提供の重要性がさらに高まるとみている。また、同社は中南米向けの取り扱いも伸ばしている。昨年のブラジル向けFCLの取扱量は前年の2.2倍、メキシコ向



米国現地法人の担当者が出荷前から日本語で輸出手続きのアドバイス

スムーズな現地通関とデリバリー



食品は0.7%の1,000億円
今後の成長分野

2019年対米輸出15兆円

出典：日本海新聞(2020年6月29日掲載)

出典：財務省貿易統計データより当社にて作成

第4次中期経営計画 重要経営指標(KPI)

売上高

2022年に300億円達成

営業利益率

7.0%

ROE

14.0%

中期経営計画基本方針

国内

- ・混載事業の業務効率化
- ・フォーディング事業への積極的投資
- ・国内事業への展開

継続的 成長

人材

- ・働き方改革に応じた人事制度の改定
- ・能力開発の徹底
- ・経営の現地化の促進

積極 投資

優位 確立

- ・5つのブロックに分け地域性・優位性を活かした営業展開
- ・新規代理店の開拓

海外

成長 加速

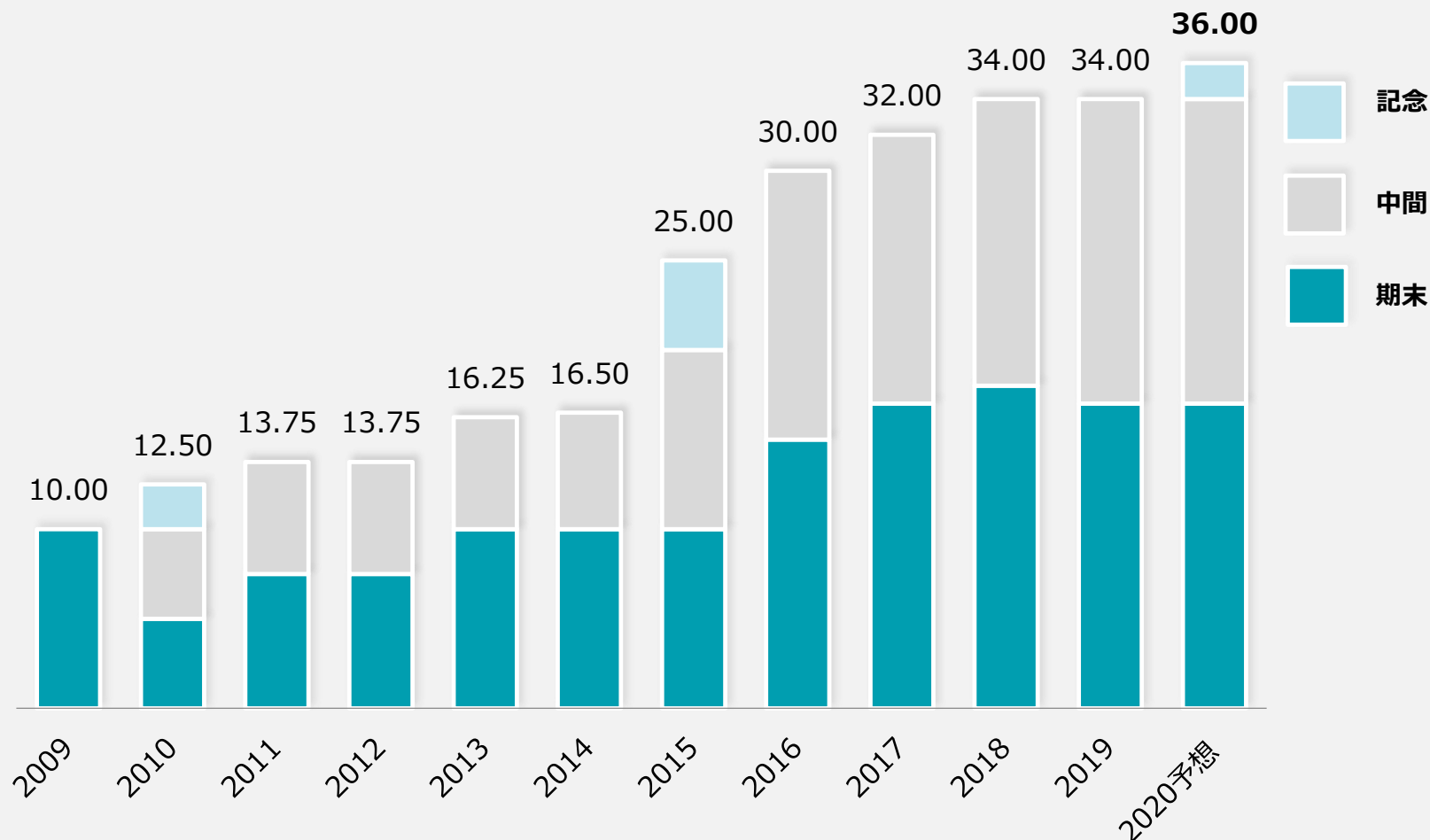
- ・M&A及び、資本提携、業務提携
- ・IT/DIGITAL化
- ・人材及び教育研修投資

投資

当社グループの取組みとしてグローバルでのSDGsの実現に向けた活動を推進し、地域、社会との関連性を意識した持続可能な社会貢献に注力してまいります

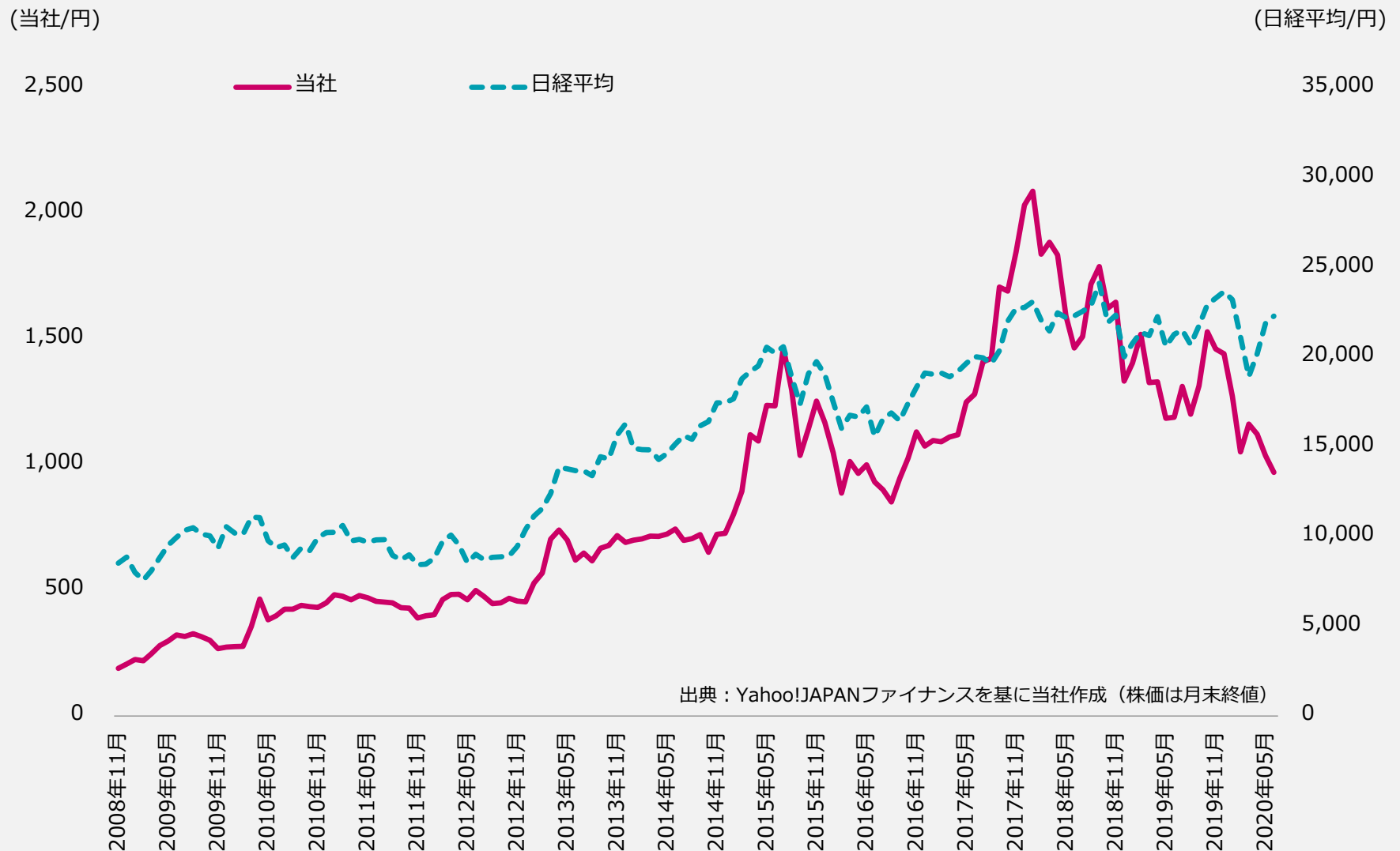
配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

お問合せ先
取締役 IR担当 田中 俊光

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。